

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	若木ライフ	施設番号	K230
-----	-------	------	------

項目	前年度の評価結果に基づく現状分析 (平成29年度)	改善計画 (平成29年度末時点)	実施状況(予定を含む) (平成30年4月30日時点)
「財務体質の改善と共に施設の更なる周知が必要と感じる」について	今般の人材難のため派遣費用が馬鹿にならない金額となっていて、全事業の人件費率が80%に近付くなど、財務内容への影響が大きくなっている。その為には毎月の利用率目標の必達が至上命題であり、コスト面では常勤比率の引き上げと厨房などの外注化による経費節減が求められる。社会的には社会福祉法人の内部留保とその活用による地域貢献が求められる状況があり、財務体質の改善と共に地域になくてはならない施設としてその存在が周知されるような具体的な取り組みを期待したい。	厨房については、平成30年3月より業務委託に移行しました。社会福祉充実残高については、平成30年3月より企業主導型保育園を新たに開設し地域に貢献する事業を開始しました(定員72名中地域枠36名)。平成30年度には、介護福祉士実務者研修および派遣・紹介事業を計画中です。	① 実施済み  ② 実施予定(平成30年10月ごろ)  具体的には以下のとおりです。 ①平成30年3月 厨房業務委託 開始 平成30年3月 企業主導型保育園 開園  ②平成30年10月 介護福祉士実務者研修 開講 平成30年10月頃 派遣・紹介事業 開始
「日常の様子を定期的に家族に知らせる手段と家族との交流機会の検討を望む」について	本人の高齢化と要介護度の上昇及び家族の高齢化もあって、施設に来訪する機会が少なくなっているという現状がある。家族に連絡する手段やホームページ・若木たより等の活用により、定期的な報告・手段を検討するよう望みたい。また、施設運営全体の報告や家族からの要望を話し合える場と機会提供のため家族会を定期開催し、併せて地域の福祉拠点を目指すよう希望したい。	ホームページをリニューアル(平成29年度)し、Face bookやブログ等の活用を検討しています。	① 実施済み(一部)  ② 実施予定(平成30年10月ごろ)  具体的には以下のとおりです。 職員がブログ、Face book等を活用し施設の状況をご家族に知らせるよう整備します。
「常に「なぜ」と問いかけて意識し共通理解のもとで支援提供をお願いしたい」について	訪問時に車いすの2台引きや車いすタイヤ上に肘が乗ったまま気付かずに誘導している場面や、昼食後の口腔ケアの際にまだ食べている前で介助する場面が見られた。業務の効率優先でなく利用者優先で支援する事は、日々の研修や申し送り等で周知徹底されていると推察するが、「なぜいまその支援が必要なのか」「なぜその支援は危険なのか」など、「なぜ？」と問いかけて意識する支援・職員間で共通理解のもとでの支援をお願いしたい。	定期的に行っているケアワーカー会議だけでなく臨時にも会議を開催し、その場で介護支援における方法やその意味を話し合う機会を設けます。	① 実施済み  ② 実施予定(平成 年 月ごろ)  具体的には以下のとおりです。 平成30年6月に臨時のケアワーカー会議を開催し、入所者様に対する処遇について話し合い、適切な介護が行なわれるよう職員間で確認しあいました。7月以降の定期ケアワーカー会議においても継続して「介護の質の向上」について検討していきます。

※この様式は、「平成29年度東京都特別養護老人ホーム経営支援補助金交付要綱」の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。